

2024年度アクセス交通等実態調査の結果 について（概要）

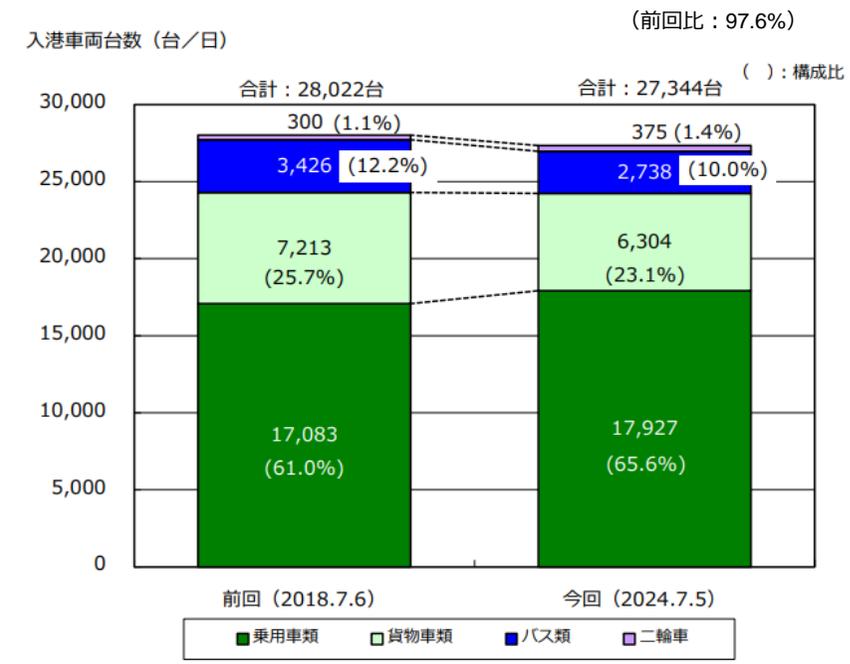
2025年3月
成田国際空港株式会社



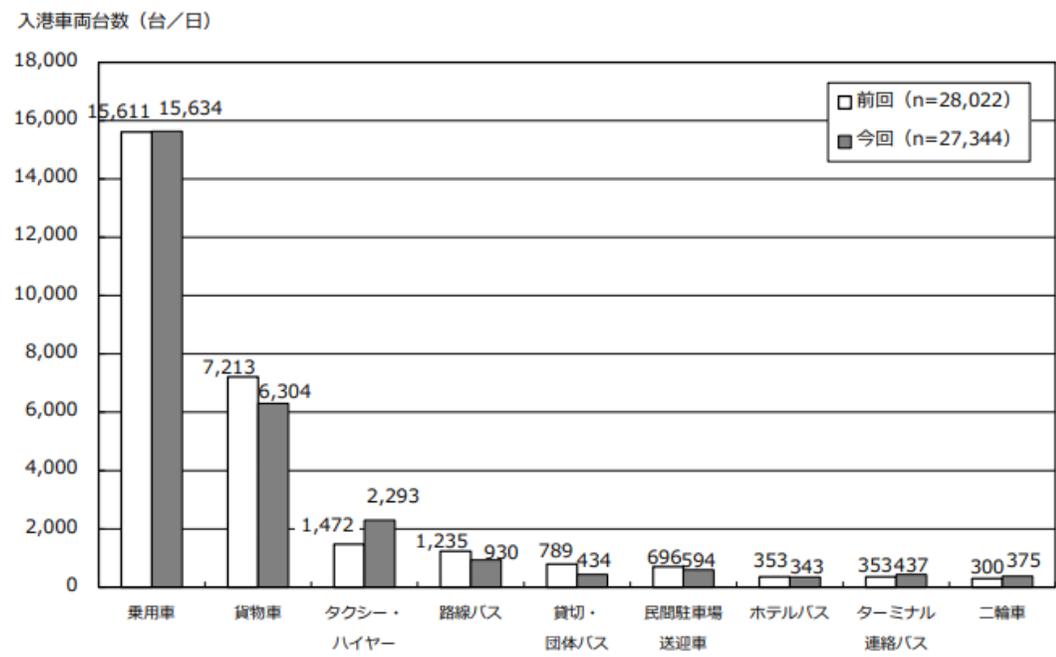
入港車両カウント調査

- 成田空港への入港車両台数は、全体で27,344台となっており、前回比で97.6%となっています。このうち乗用車類が最も多く65.6%、貨物車類が23.1%、バス類が10.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、車種別の比率に大きな変化はありませんでした。

○ 全体の入港車両台数



○ 車種別入港車両台数



※ 乗用車類：乗用車、タクシー・ハイヤー
 貨物車類：小型貨物車、普通貨物車
 バス類：民間駐車場送迎車、路線バス、貸切・団体バス、ホテルバス、ターミナル連絡バス

出発旅客アンケート調査（全出発旅客）

- 鉄道類を利用するお客様の割合が10%増加しています。
- 自動車類（バス）を利用するお客様の割合が11%減少しています。
- 自動車類（自家用車等）を利用するお客様の割合が4%増加しています。

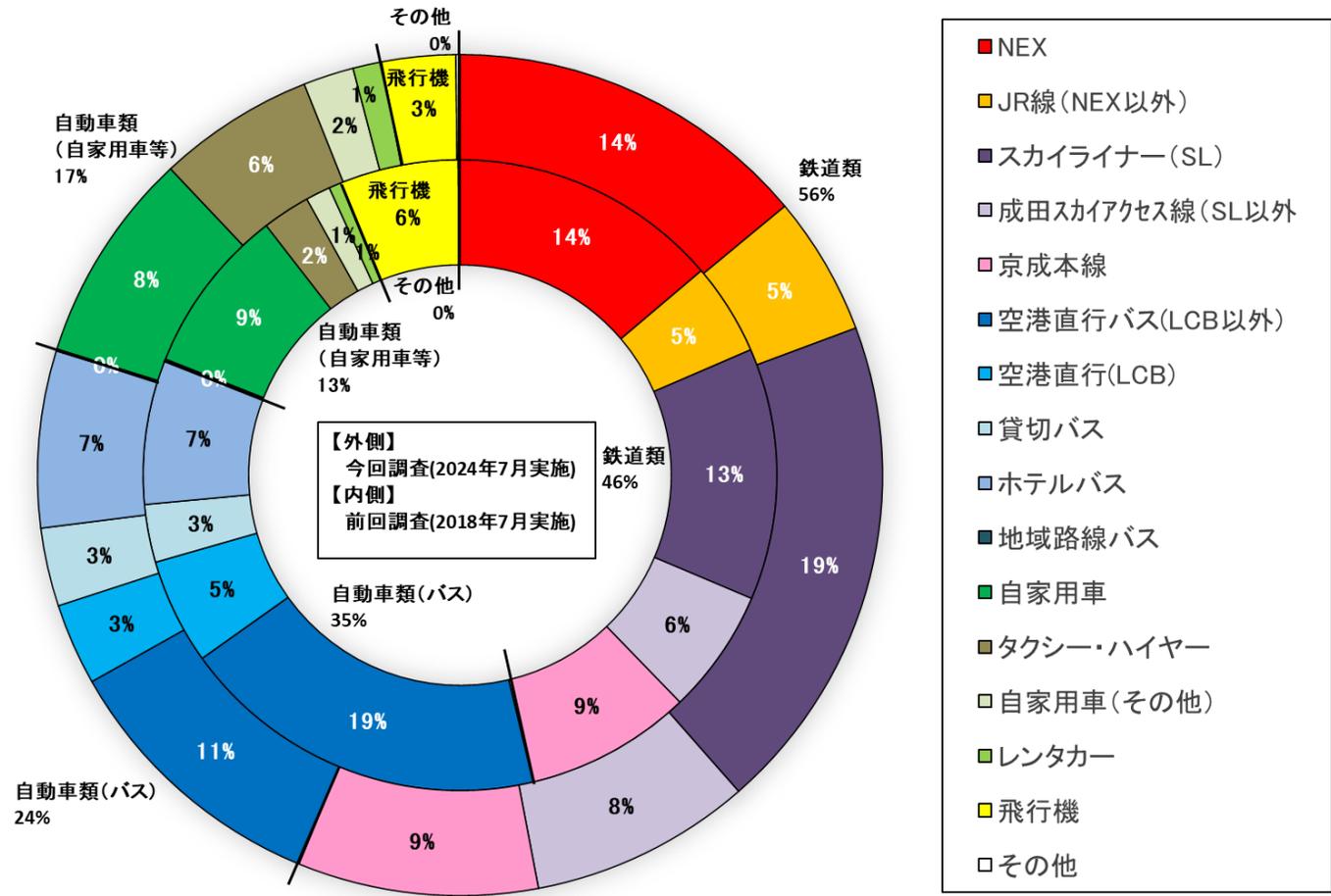


図-1 全出発旅客のアクセス交通機関構成比

注1) 構成比は四捨五入しているため、合計値が合致しない場合があります。

出発旅客アンケート調査（日本人出発旅客）

- 鉄道類を利用するお客様の割合が12%増加しております。
- 自動車類（バス）を利用するお客様の割合が13%減少しています。
- 自家用車等を利用するお客様の割合が3%増加しています。

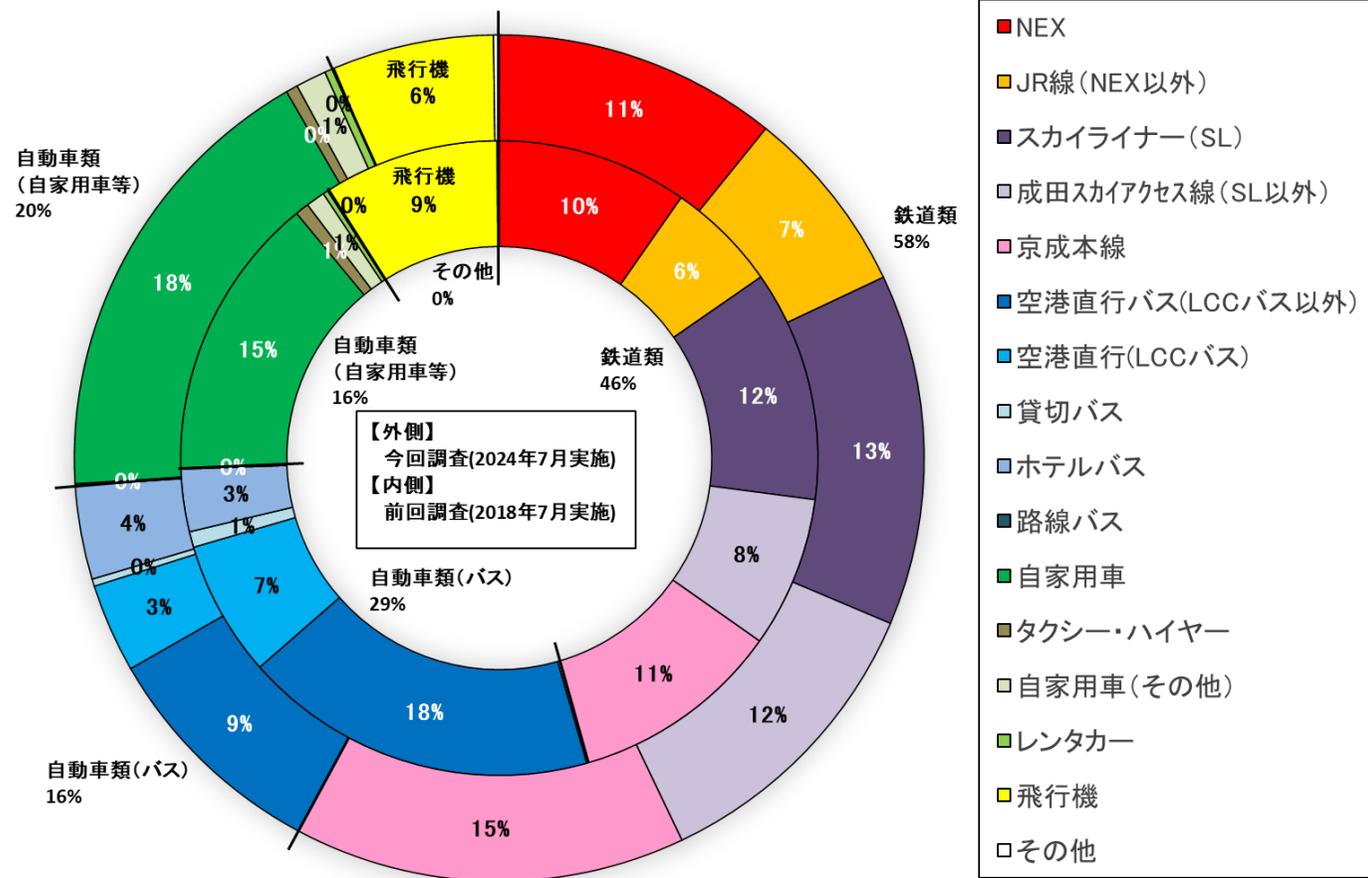


図-2 日本人出発旅客のアクセス交通機関構成比

注1) 構成比は四捨五入しているため、合計値が合致しない場合があります。

出発旅客アンケート調査（外国人出発旅客）

- 鉄道類を利用するお客様の割合が8%増加しています。
- 自動車類（バス）を利用するお客様の割合が13%減少しています。
- タクシー・ハイヤーを利用するお客様の割合が6%増加しています。

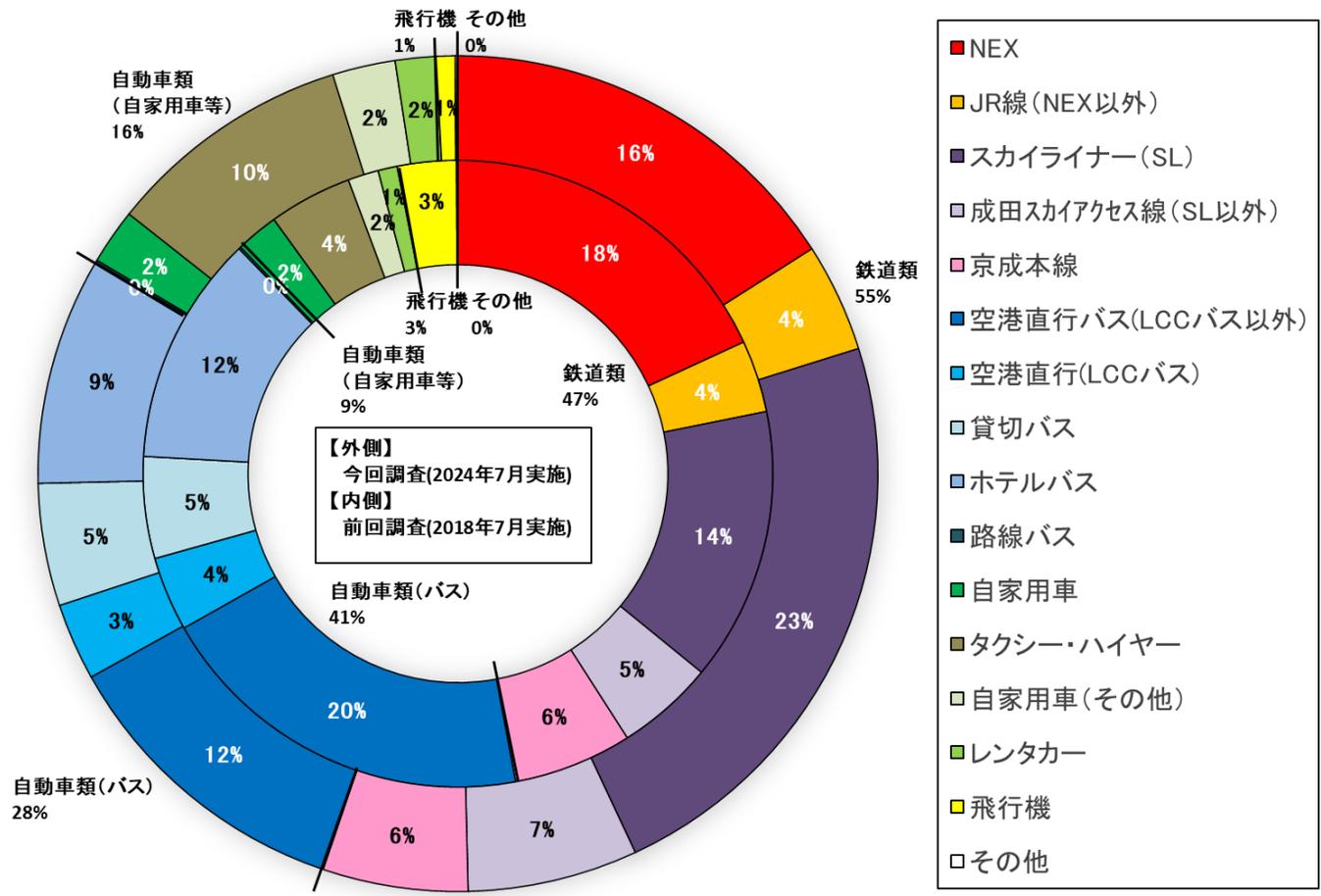


図-3 外国人出発旅客のアクセス交通機関構成比

注1) 構成比は四捨五入しているため、合計値が合致しない場合があります。

出発旅客アンケート調査（国際・国内線、ターミナル別出発旅客）

- 国際線を利用するお客様では、1PTB・2PTB、3PTBを利用するお客様ともに、交通機関の利用割合に大きな差は見受けられませんでした。
- 1PTB・2PTBを利用する国内線のお客様では、飛行機（国際線からの乗継ぎ）を利用する傾向が高く、飛行機の割合が大きいです。
- 国内線を利用するお客様に比べて、国際線を利用するお客様の方が、有料特急や空港直行バスを利用する割合が高くなっています。

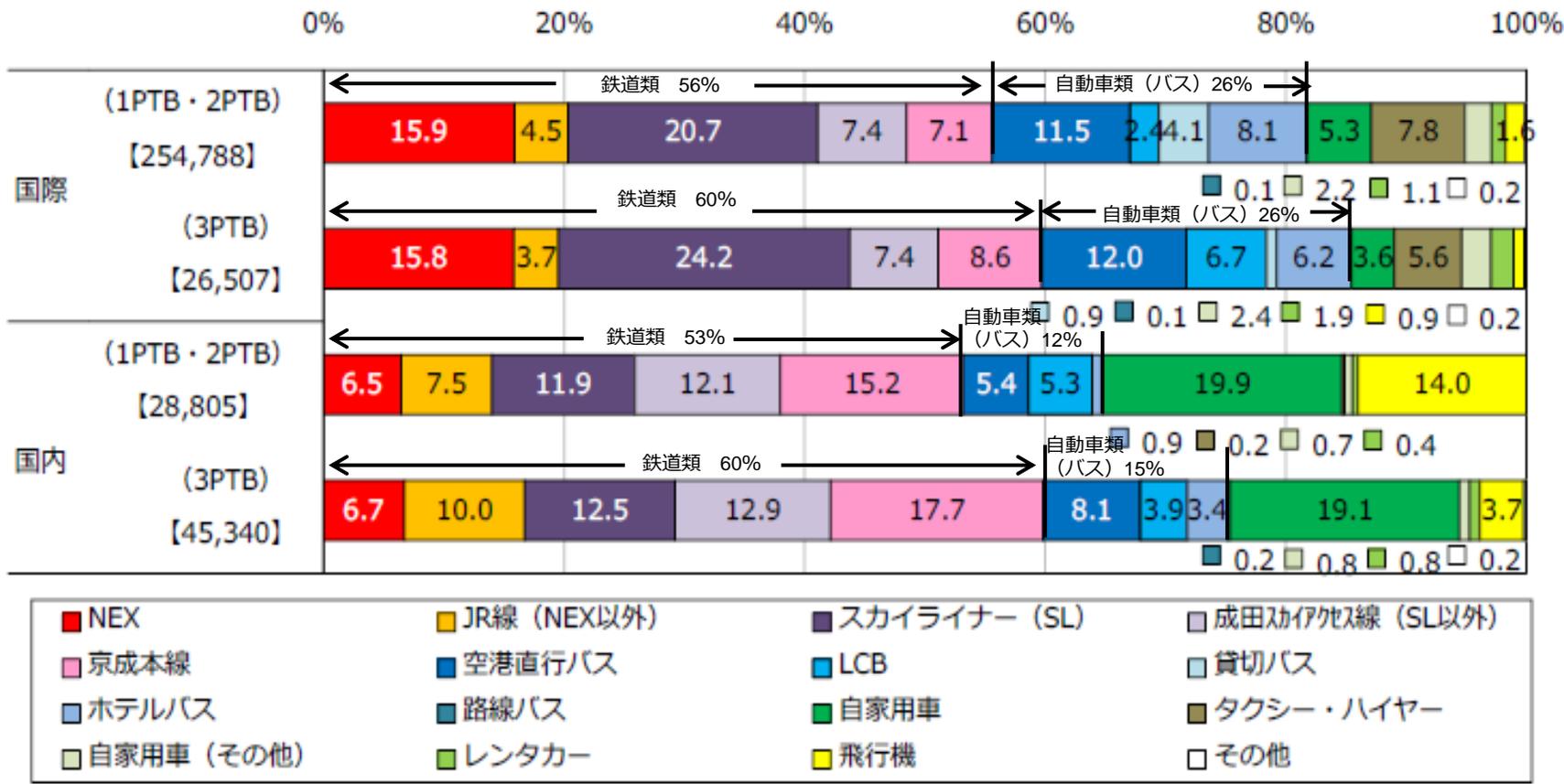


図-4 出発旅客のアクセス交通機関（国際・国内、ターミナル別）

■ 本調査の報告書を下記ホームページにて公開しておりますので、その他の調査項目につきましては、こちらをご覧ください。
 成田国際空港アクセス交通実態調査報告書ホームページ : <https://www.narita-airport.jp/ja/company/airport-operation/airport/research/>